

# 緊急 元号の本質を揺るがす 国民集会

## 「新帝御即位前公表」を考える

謹啓 早春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今般予定されております御代がわりに際し、政府は本年四月一日に、皇位継承と密接な関わりを持つ元号の、その本質をなにとつ学ぶことなく、新帝の御即位前に政令として公布することを予定しています。その大きな理由が歴史や伝統ではなく、経済や行政への配慮という瑣末なことであることに驚きを禁じ得ません。

我が国の永い歴史をひもとけば、大化の改新より 天皇陛下下の勅定（陛下御自らがお決めになること）によって定められた元号の本質がいま歪められようとしています。

そこで今般

杉本延博先生（奈良県御所市議会議員・『御歴代天皇の詔勅謹解』著者）

鈴木信行先生（東京都葛飾区議会議員）

をお招きし、「元号」をテーマとした国民緊急集会として左記の通り講演会を開催いたします。

緊急のご案内にて、まことに恐縮ではございますが、道友、同志お誘い合わせの上、ご参加頂ければ幸いに存じます。

謹白

※講演会にて「新元号の御即位前公表に対する声明」を決議し、後日内閣府への提出を予定しています。

元号問題を考える講演会

【日 時】平成三十一年三月三日（日）

午後三時開会（午後二時三〇分開場）

午後五時閉会

【会 場】ビジョンセンター永田町（自民党本部隣）

東京都千代田区永田町一丁目十一―二十八

合人社東京永田町ビル六階

（電話）〇三―六二六二―三五五三

【会場整理費】一千元

【主 催】「元号問題を考える講演会」事務局

〒一〇三―〇〇一四

東京都中央区日本橋蛸殻町一―六一―四

第三カネタツビル一〇三（鈴木信行事務所内）



## 元号の本質を破壊する「新帝御即位前公表」に反対します

平成二十八年八月八日「象徴としてのお務めについて」との 天皇陛下のおことばを拝し、政府は御譲位に向けた法整備を行ってきました。しかしこれは、「譲位」という言葉を勝手に読みかえ「退位」という、わが国の皇室の歴史にない文言を持ち出し、憲法や皇室典範の条文をなにごとつ変えることなく「特例法」として、一代限りを条件とするものを作り上げました。たしかに、御譲位による皇位継承は過去に二〇〇年ほどありません。また明治以降は憲法、そして皇室典範において、この譲位の規定がないことも事実です。しかし、大本を改めず、時の政府の判断でいかようにも出来る「特例法」とは、次代に対する負の先例になりかねない危険をはらむものでもあります。「政教問題」に対する配慮との見方も出来ませんが、これによって政府は、わが国の大本である皇室・皇位継承のあり方を、いとも簡単に変えることが出来るというシステムを作り上げてしまったのです。

さらに今般、政治日程から御譲位 新帝御即位の日が決定されているとはいえ 新帝が御即位あそばされる前に次の御代の元号が公表されようとしています。

はたして、行政や経済への混乱を最小限にというだけの瑣末な理由で、歴史に例を見ないこのような暴挙を許してよいのでしょうか。

たしかに、現在の元号法において新元号を 天皇陛下がお決めになることにはなっていない。しかしその規定には「皇位の継承があった場合に限り(元号を)政令で定める」とされています。そして政令にはかならず 天皇陛下の御名御璽を賜ります。これにならえば、五月一日の御即位の日に 新帝から御名御璽を賜る元号が政令としてはじめて発せられなければなりません。

かりに、のちに政令を経ることになろうとも、政府の閣議決定のみで事前公表が行われるのだとすれば、それは皇位の継承とはなんら関わりのない「政府の元号」の公表ということになります。はたしてそれが、日本の伝統に照らし、また国民から愛され、親しまれる元号になり得るでしょうか。これは皇位継承と密接にある元号を蔑ろにする以外のなにもでもありません。

私たちはここに、政府による「新帝御即位前新元号公表」に反対し、歴史と伝統に基づく改元がなされることを求めます。